

(概要版)

教師と児童・保護者との信頼関係を高める方策に関する研究 - 児童のよい姿の見取りと児童・保護者への伝達を通して -

長期研修員 高橋 康則

基本的な考え方

よりよい学級経営のために...教師・児童・保護者の信頼関係を高めたい

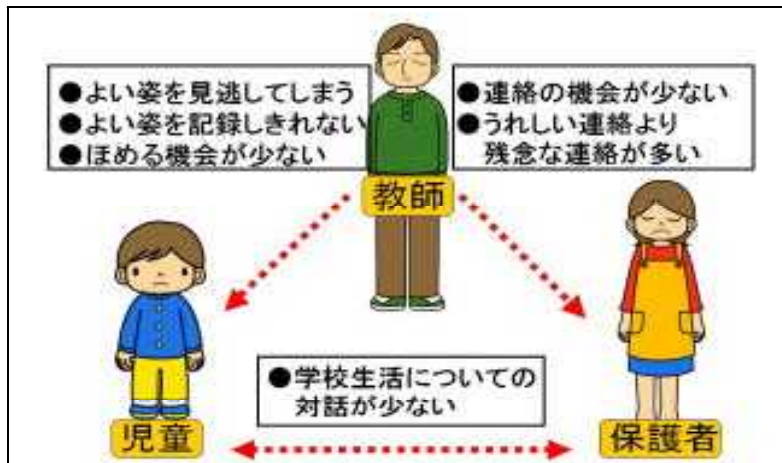
↓ そのためには多くの対話や連絡が必要!

児童の**よい姿**を児童本人にほめたりその保護者へ伝えたりしよう!

学校生活の中にみられる児童のよい態度や行動

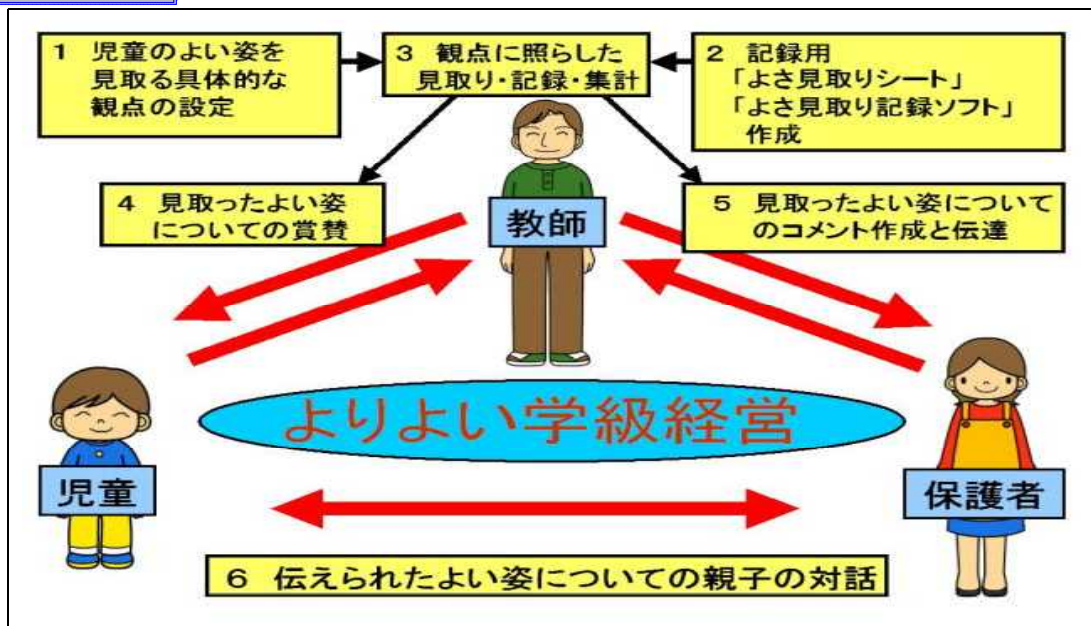
現状は?

解決の
ために



研究の内容

児童の「よい姿」をほめたり伝えたりして、つながりを強めたい!



研究の実際

1. 児童のよい姿を見取る具体的な観点の設定

児童のよい姿を確実に見取るために、事前に「見取りの観点」を設定した。

学校生活の場面				
	授業中	係・当番等	休み時間等	
指導要録「行動の記録」の評価項目	基本的な生活習慣	視線を集中させ、姿勢正しく話を聞いている。	道具の使い方や身支度・手洗いなどがきちんできてきている。	自分から明るい声で朝のあいさつや帰りのあいさつをしている。
	健康・体力の向上	体育でいっしょうけんめい体を動かしている。	好き嫌い無く、栄養のバランスよく食事をしている。	体を使った遊びやいろいろな運動にすすんで取り組んでいる。
	自主・自律	先生が話したことや、自分で重要だと思ったことをノートに記入している。	友達に影響されず、作業に黙々と取り組んでいる。	時間を有効に使って自分の力を伸ばそうとしている。
	責任感	学習の準備や課	自分の分担を最	係や委員会、日直

見取りの観点

2. 記録用「よさ見取りシート」「よさ見取り記録ソフト」作成

児童のよい姿を効果的に記録するために、手元に置いて記録する「よさ見取りシート」およびコンピュータで集計できる「よさ見取り記録ソフト」を作成した。

指導要録の項目別に作成した「見取りの観点」

指導要録の項目	基本的な生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律	責任感	観察工夫	思いやり・協力	生活態度	自然環境	創作・発表	公正・公平	自中心心
児童のよい姿	基本的生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律	責任感	観察工夫	思いやり・協力	生活態度	自然環境	創作・発表	公正・公平	自中心心

「よさ見取りシート」の結果を入力



「よさ見取り記録ソフト」

「よさ見取りシート」
手元において、児童のよい姿を記録

児童名	授業中の姿	係・当番等の姿	集計
児童A	視線を集中させ、姿勢正しく話を聞いている。	道具の使い方や身支度・手洗いなどがきちんできてきている。	1 1 2
児童B	体育でいっしょうけんめい体を動かしている。	好き嫌い無く、栄養のバランスよく食事をしている。	1 1 1
児童C	先生が話したことや、自分で重要だと思ったことをノートに記入している。	友達に影響されず、作業に黙々と取り組んでいる。	7 6 1 1
児童D	学習の準備や課題の提出がきちんできてきている。	自分の分担を最	1 1 1 1
児童E	自然や動物を愛護しようとする意識が、作文や発表の中に感じられる。	友だちを区別しないで意見を聞いたり、区別しないで班を組んで活動したりできている。	1 1 2
児童F	学習や作業の準備や片付け・掃除にすすんで取り組んでいる。	公私に関わらず、物をでいねいに扱ったり、譲り合って使ったりしている。	1 1 2
児童G	友だちに協力したり作業を手伝ったりしている。	道具の使い方・片付け方や身支度・手洗い等がきちんできてきている。	2 2 1 2
児童H	自然や生命に感謝の気持ちを表しながら生活している(生き物・植物・食べ物の扱い等)。	好き嫌い無く、栄養バランスよく食事している。	1 1 1 2
児童I	自分の分担以外の仕事をすすんで引き受けている。	友達に影響されず、作業に黙々と取り組んでいる。	1 3 1
児童J	友達によって差をつけず、仕事を協力できている。	係や委員会、当番等の仕事を忘れずに、最後まで確実にやっている。	1 3 3

3. 観点に照らした見取り・記録・集計

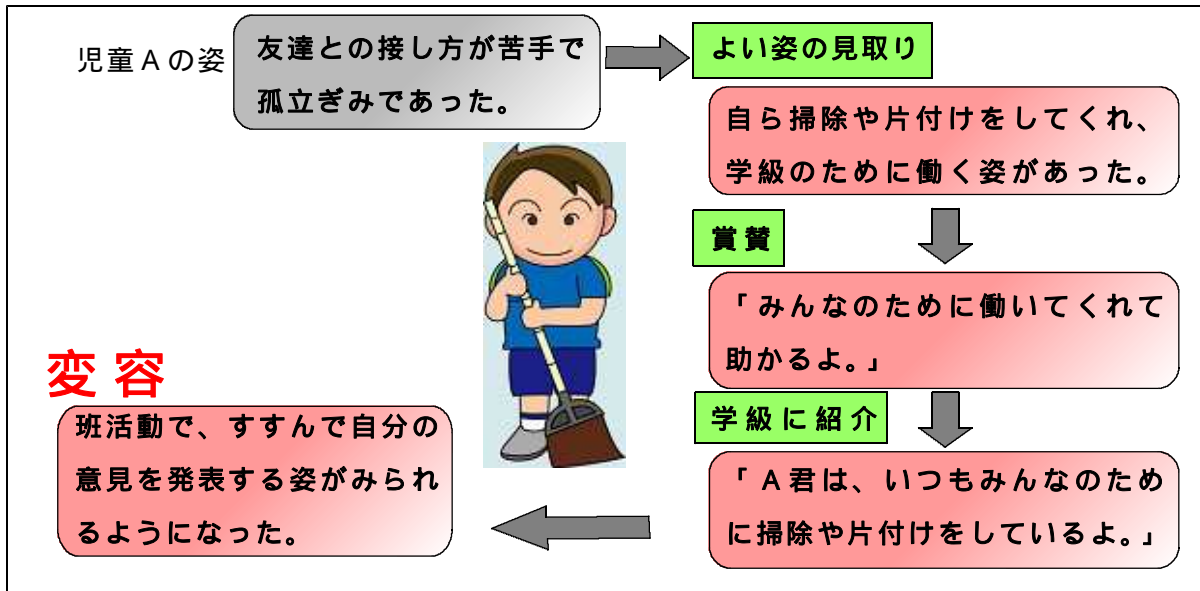
「見取りの観点」に照らして児童のよい姿がみられた際に、「よさ見取りシート」に記録した。その結果を、「よさ見取り記録ソフト」に入力した。



	観点(各案の様子)									
	基本的生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律	責任感	創意工夫	思いやり・協力	生命尊重・自然愛護	勤労・奉仕	公正・公平	公共心・公德心
1	出字がきちんとしていて、持ち物や課題の整理がきちんとしている。	体育で、最後まで頑張っている。	姿勢よく集中して活動している。	い字習をいっしょに頑張っている。	先生が話したことをノートに記入している。	字習が先導するようになり、協力している。	自然や動物の生態に興味がある。	掃除や作業の準備や片付けがきちんとしている。	誰や学級全体の意見を聞き、区別して活動している。	授業を受ける時のまじりやマナーを守っている。
2		T	T		T			F		T
3						T			T	
4			F							F
5				F						
6	F							T		
7		T								
8				T		T				
9								F		
10	T									
11					T					
12					T					

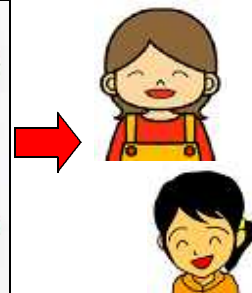
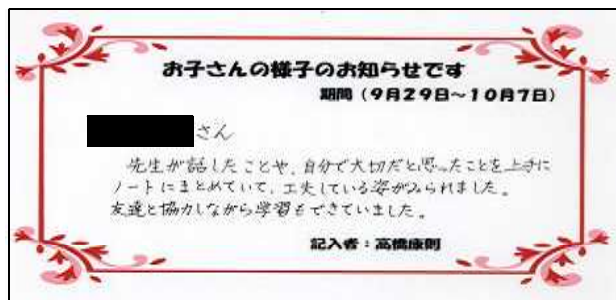
4. 見取ったよい姿の賞賛

見取りと賞賛を行うことで、児童に変容がみられた。



5. 見取ったよい姿についてのコメント作成と伝達

集計をもとに、児童のよい姿についてコメントを作成して保護者に伝えた。



6. 伝えられたよい姿についての親子の対話



しっかりと勉強しているんだね。えらいぞ。これからも続けようね。

先生に「ノートのとり方が工夫されていて上手だよ」ってほめられたよ。



先生によりコメントをいただけたことで、こどものことを気持ちよくほめることができました。

「こんなふうがんばっているんだね」と、家の人に少しびっくりされました。

研究のまとめ

教師の立場から

見取りの観点に照らして見取することで、確実に児童のよい姿を見取れた。

児童のよい姿を見取ろうと意識することで、児童理解が深まった。

よさ見取りシートを使うことで、効率よく児童のよい姿を記録できた。

児童の立場から

先生が自分のことをよく見てくれているという安心感が持てた。

賞賛されることにより、学校生活に前向きな意識が高まった。



コメントを介して、親子のコミュニケーションの機会が得られた。

保護者の立場から

コメントにより我が子を見てもらえているという実感が得られ、担任とのつながり感が得られた。

ふだんはわからない、我が子の学校での姿を知ることができた。

児童のよい姿を見取り、賞賛やコメントで伝えたことで、よりよい学級経営のための教師と児童・保護者の信頼関係を高められた。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター

担当係：研究企画係

0270-26-9212（直通）